

4 地域社会との接触 — 地域社会との接触が乏しい事例が約7割 —

- 心中以外的事例では、平成16年の検証結果と同様に、地域社会との接触がほとんどないもしくは乏しいと考えられる家庭の割合が高く、69.5% (16例) となっていた (心中事例では15.8% : 3例)。

5 関係機関の関与

① 児童相談所の関与 — 関与事例の割合が減少

- 心中以外的事例に関し、児童相談所の関与している割合は、H15年50.0%、H16年31.3%、H17年19.6%と減少。しかし、児童相談所の関与事例 (10例) のうち、4例は児童相談所として虐待とは判断せず、2例も一部の者のみが虐待と認識し、組織全体として認識を持っていなかった。

② 児童相談所以外の関係機関の関与 — 適切なリスク判断と児童相談所との連携が課題 —

- 関係機関との接点はあったが家庭への支援の必要性はないと判断していた事例は、H15年25.0%、H16年27.1%、H17年45.1%と増加傾向。

6 児童相談所による安全確認 — アセスメントの強化と適切な措置の実施が必要 —

- 児童相談所が関与した10例のうち、最終安全確認の時期が死亡前1か月以内の事例が70%。

7 心中事例 — 事例収集や分析が必要 —

- こども虐待の観点からの心中事例の検討はほとんどなされていないのが現状であり、心中事例の収集や分析を行い、対策の検討を進めることが必要。